



愛知県生涯学習推進センター情報誌



生涯学習情報いっぱい！「学びネットあいち」
<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>



携帯電話からも情報検索できます。
<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>

編集・発行/愛知県生涯学習推進センター（愛知県教育委員会生涯学習課）

〒460-0001 名古屋市中区三の丸三丁目2番1号（愛知県東大手庁舎2階） TEL 052-961-5333 FAX 052-961-0232

「芸術って素晴らしい！」



～地域ふれあい芸術体験事業～

あなたは最近オーケストラや演劇をご覧になりましたか？ご覧になった人でも、“参加したことがある”という人はなかなかいらっしゃらないのではないのでしょうか？

県内には数多くの優れた舞台芸術団体があります。舞台芸術へ直に触れてもらおうと、舞台芸術団体と地域が一体となって、各地域で参加体験交流を目的とした取組が行われています。

今回は、子どもたちの豊かな創造力や感性を育む活動の様子を特集します。

オーケストラ公演
～セントラル愛知交響楽団～



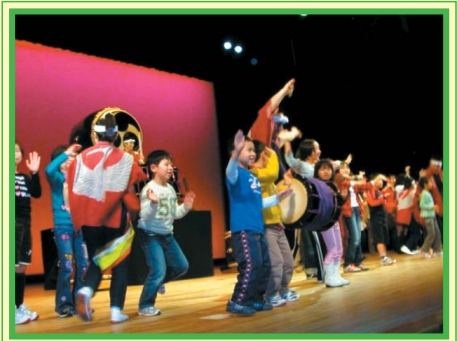
【豊川市御津町】

演劇公演
～劇団うりんこ～



【岩倉市】

和太鼓公演
～志多ら～



【豊明市】

INDEX 【目次】

- 【特集】「芸術って素晴らしい！」～地域ふれあい芸術体験事業～ 1
- 「学びネットあいち」体験レポート 3
- インタビュー「この人に聞く」 13
- ボランティアだより 15
- 「学びネットあいち」の学習コンテンツガイドが新しくなりました！ 19
- 講座・講習会・イベント情報 4
- ネットワーク機関紹介 14
- 生涯学習推進センターだより 17



「芸術って素晴らしい！～地域ふれあい芸術体験事業～」

愛知県教育委員会では、県内の優れた舞台芸術団体を市町村へ派遣して、地域での文化芸術への参加体験交流を促進することを目的とした「地域ふれあい芸術体験事業」を実施しました。

この事業を通して、子どもたちが優れた舞台芸術に直に触れることによって、豊かな創造力や感性を育んでくれることを願っています。さらに、地域の人々が子どもたちと一緒に舞台芸術に親しむことによって、地域の文化や教育の環境が向上するきっかけになることを期待しています。



オーケストラ公演 ～セントラル愛知交響楽団～

豊川市御津町

9月17日（月・祝）に豊川市御津文化会館（ハートフルホール）で、「セントラル愛知交響楽団」によるオーケストラ公演が行われ、420人の子どもや大人が参加しました。

よしずみのりひろ
吉住典洋さんの指揮によりビゼーの「カルメン」や、ヴァイオリニストの永田真希さんの独奏が加わったメンデルスゾーンの「ヴァイオリン協奏曲」などが演奏され、親しみやすく美しい音色が参加者を魅了しました。演奏の合間には、楽器の紹介もあり、オーケストラのことについて学ぶ機会となったと好評でした。また、御津中学校吹奏楽部は、公演2週間前に行ったワークショップで楽団員から実技指導を受け、当日は舞台上で楽団とともに演奏し、参加者から大きな拍手が送られました。



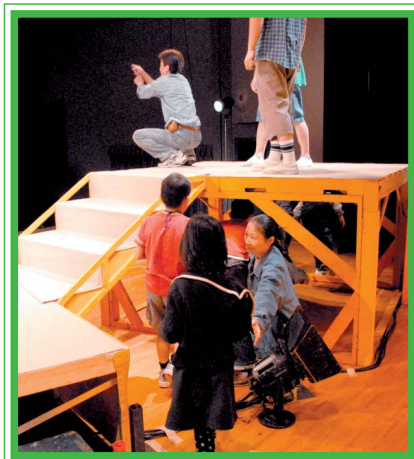
吹奏楽部員の感想

「本番前の練習ではとても緊張してしまいましたが、本番では楽しめればいいやと開き直って、落ち着いて演奏できました。これからたくさん練習して、もっともっとうまくなりたいです。」

演劇公演～劇団うりんこ～ 岩倉市

11月18日（日）に岩倉市総合体育文化センターで、「劇団うりんこ」による演劇公演が行われ、320人の子どもや大人が参加しました。

当日行われた「星のまつり」という劇は、お祭りを創りあげる子どもたちの元気と不思議な力を描いた作品で、参加者からは楽しみながら元気をもらったなどの感想がありました。また、30人の小中学生が、午前中から一日劇団員として、劇団員の指導による稽古やバックステージ見学、受付などスタッフ体験をしました。



劇団員体験参加者の感想

劇団員体験に参加してみて、7人の劇団員で舞台作りから受け付け、演技まですべてやると知ってびっくりしました。いつもは見ることのできない舞台裏を見たり、いろいろなことを教えてもらえてとてもよい体験をすることができました。

和太鼓公演～志多ら～ 豊明市



12月24日（月・休日）に豊明市文化会館大ホールで、「志多ら」による和太鼓公演が行われ、425人の子どもや大人が参加しました。

コンサート前にワークショップが行われ、22人の子どもたちが志多らのメンバーから太鼓の基本的な打ち方や「楽～RAKU～」という曲の練習の指導を受け、コンサートの1曲目に練習の成果を発表しました。その後、「SAIRAI」や「花まつり志多ら舞」など5曲の演奏があり、多彩で迫力ある演奏が参加者に感動を与えました。

ワークショップ参加者の感想

最初のうちは少し難しくて不安になりましたが、志多らのメンバーに分かりやすく教えてもらっている間に自信がつき、本番ではみんな楽しく元気よくやれてよかったです。志多らの演奏は、みんな堂々といきいきと演奏していて感動しました。

「地域ふれあい芸術体験事業」について興味をもった方は、お住まいの市町村教育委員会か、愛知県教育委員会生涯学習課へお問い合わせください。

【愛知県教育委員会生涯学習課】電話：052-954-6780（ダイヤルイン）

Eメール：syogaigakushu@pref.aichi.lg.jp





愛知県生涯学習情報システム

を利用して・・・

私らしく、始めよう！生涯学習



愛知県生涯学習情報システム「学びネットあいち」では、自分の学習目的に合わせて、講座などの情報を検索できる他、特に学習目的が決まっていなくても、自分の予定にあわせて講座情報を検索できる“イベントカレンダー”も充実しています。この“イベントカレンダー”を使って学びの世界に飛び込んでみました！



【 経験の扉を開く！ ～“初めて”は楽しさいっぱい～ 】

冷たい風が吹きつける1月中旬、イベントカレンダーで「ソリ滑り&キノコの菌打ち体験」を発見しました。きのこの菌打ちはなかなか体験できるものではないので大変興味深く、伝承遊びも体験できるということで、さっそく参加してきました。

会場は愛知県旭高原少年自然の家。愛知高原国定公園の北東部の“旭高原”と呼ばれるすばらしい自然環境に建設された社会教育施設です。豊かな自然を活かした四季折々のイベントで、楽しく学習や体験ができます。

1日目は伝承遊びときのこの菌打ち体験。伝承遊びでは、おはじき・こま回し・だるま落とし・けん玉等、初めて経験する遊びもあり、子どもたちは大はしゃぎ。お父さん・お母さんに少しアドバイスをもらったらすぐにマスターしてしまい、上達の早さにとても驚かされました。菌打ち体験では家族で協力しあい作業を進めていきます。使い慣れない道具に苦戦しながらも作業完了。早くきのこが出てこないかなあ、と今から楽しみにしていました。



△上手にできるかな？

2日目は元気村でそり滑り。ゲレンデには歓声をあげて楽しそうに滑る姿が溢れていました。冷たい風もそりの楽しさには勝てません。

終了後、職員の方にお話を聞きました。

「今回の遊びや体験は、子どもたちの多くは未経験だったと思います。新しいことを経験することの楽しさを知ってもらいたいですね。」



△風を切る爽快感がたまらない！

＜愛知県旭高原少年自然の家＞

標高620mの愛知高原国定公園の自然豊かな旭高原にある社会教育施設です。

企業研修・野外活動など、生涯学習の時代にふさわしい様々な学習や体験ができます。



△少年自然の家本館外観

ふとした興味から参加したイベントでしたが、自然の中のゆったりとした時間や、新しい事柄に挑戦することの楽しさを感じることができました。あなたも新しい事に挑戦して経験を増やしてみませんか？

愛知県旭高原少年自然の家からのお知らせ

【自然に親しむ親子のつどい】のお知らせ

旭高原少年自然の家では、季節に応じて「自然に親しむ親子のつどい」を、年7回実施しています。旭高原の自然に親しみながら、親子で自然体験・野外活動・手づくり活動を通して、創造の喜びや楽しさを味わい、家族及び世代を越えての交流を図ることができます。ぜひご参加ください。 詳細は ⇒ <http://www6.ocn.ne.jp/~ashkogen/>



この人に聞く！

美しい地球が大好き！

—この想いをキルトで伝えたい



生涯学習に関する様々な活動を試みえる方にお話を伺い、その方の信念や活力の源に迫ります。今回は、趣味のキルトを生かして、環境問題をメッセージとして発信するなど、多方面で活躍している西村むつ子さんにお話を伺いました。

— キルトを始めたきっかけについて教えてください。

西村さん（以下敬称略。） 35歳くらいの時に何気なく出かけたデパートで、雑誌社が主催するキルトコンクールの入賞作品が展示されていました。キルトについて何も知らない時でしたが、「布で絵を描く」という発想にとても衝撃を受けました。小さい頃から手縫いをして遊ぶことが好きだったので、「自分もやってみよう！」と思ったことがきっかけですね。

私が挑戦した年のコンクールのテーマは「私の好きな風景」。海に夕陽が沈む風景を、自分で染めた布で表現することにしました。試行錯誤しながら、なんとか完成させた作品が、見事佳作をとったのです！普通の主婦である自分が賞をとれたことに感激すると同時に、自分の自信にもつながりました。

— その自信が、西村さんの中でキルトの世界をどんどん広げていったのですね。

西村 作っていくうちに、自分は何を表現したいのかが分かってくるのです。私が表現したい世界は抽象。例えば、リンゴをそのまま表現するのではなく、リンゴの味や、リンゴにまつわる思い出みたいなものを表現したい。縫うという制限された作業の中で、見えないものをいかに視覚化するかというストイックな世界が、キルトにのめり込んだ要因かもしれませんね。

また、キルトの可能性を広げたという意味では、共通の趣味をもつ仲間や異分野で活躍する友人の存在も大きいと思います。

— お互いに刺激しながら、高めていったのですね。

西村 2005年の愛知万博を支援する、市民参加の一つとして、キルトで環境や家庭の暖かさなどを世界に発信しようという話が持ち上がりました。もともと環境には関心があり、自身の趣味であるキルトを生かして何かしたいと考えていたので、積極的に参加しました。活動を通して、様々な国の方と交流させていただき、文化や考え方の違いに刺激を受けましたね。

万博終了後、この取組を継続させていこうと、友人と共にNPO法人を設立しました。

— 具体的にどんな活動をされていますか。

西村 例えば、一般の方から環境に関する言葉を「5・7・5」で募集し、キルトで大きなカルタを作成しました。これをいろいろな場所に展示したり、イベントで実際にカルタとりをしたりして、環境問題をメッセージとして地域に発信しています。

— キルトは華やかですから、飾ってあるだけでつい目を留めてしまいますよね。

西村 そこが狙いなんです。一つ一つの言葉は、みんな知っていることばかり。「地球を大切に」と言葉だけで見ると「ふーん」で終わるところを、キルトで作った大きな地球儀を添えるだけで、印象として強く残る。それを見ていただくことで、当たり前のことを再認識する場が提供できればいいですね。

— 特に環境問題については、私たち一人一人が主役なんだという意識が必要ですね。

西村 そのとおりです。私たちの世代は努力して環境を学び、「しなくてはいけない」という思いで環境問題に取り組んできました。そうではなく、将来的には、ことさら環境について考えなくても、リサイクルなど環境に配慮した取組が自然にできる、そういう社会にしたいですね。キルトだってリサイクルの一つ。自分の趣味であるキルトを通して、楽しみつつ、活動を続けていきたいと思っています。

— 最後にメッセージをお願いします。

西村 日々の生活の中で、気がついた時に気がついた分野で、自分は環境のために何をしているのかを振り返ってほしいです。そして、どんな小さなことでも「私も環境のために、こんなことをやっているんだ」と自分を誉めてください。そうすることで、一人でも環境に対する意識が高まればと思いますね。

西村むつ子さん（NPO法人キルトネットワークジャパン理事・広報、学習サークル「キルトスタジオあとリエむう」代表）

URL: <http://www.mutsuko3.com>

「あとリエむう・萌木会作品展」
平成20年10月28日～11月2日
電気文化会館5F 東ギャラリー

幅広い学習環境を提供 ～国立豊田工業高等専門学校～

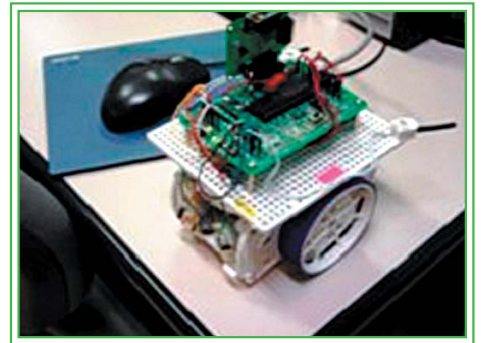
国立豊田高専は、正式には「独立行政法人 国立高等専門学校機構 豊田工業高等専門学校」といい、国の予算で教育・研究を行っている高等教育機関です。

機械、電気・電子システム、情報、環境都市、建築の5学科があり、中学校卒業後、5年間の高大一貫教育で、大学工学部と同程度の専門的知識や技術を身につけられます。本科卒業後は、就職や大学編入学のほか、2年間の専攻科（学士課程）へ進学する学生もいます。

◇◆豊田高専では、地域貢献の一環として、公開講座、出前授業など、幅広い学習環境を提供しています。

①中学生対象講座

主に夏休みを利用して行われる実習型の講座です。模型のブリッジを作り、どこまで重さに耐えられるかを競争したり、LEGOブロックにセンサーやモーターを取り付けコンピュータの命令で動かしたり、大きな木造建築の家を組み立てたりと、楽しみながらモノづくりが体験できる講座を開講しています。



②一般の方対象講座

一般の方向けには、幅広い年齢層に対応できるよう様々な分野の講座をご用意しています。また、なるべく多くの方々に受講していただけるよう、土日の開講もしています。

現代の情報化時代に即したコンピュータネットワークのセキュリティ対策の講座などは大変ご好評を頂いております。

英語学習を考えている方には、100万語をめざす英文多読講座、絵解きを交えながら英会話を学ぶ講座、語源の謎解きをしながら英国の文化に触れる講座などがあります。



また、歴史や文学がお好きな方には、NHK大河ドラマに関連した人物について解説する講座もあります。（平成19年度のテーマは「山本勘助」でした）

平成19年度公開講座の講座風景につきましては、本校HPで公開中です。平成20年度もいろいろな講座を準備中です。「学びネットあいち」や本校HPでご案内いたしますので、ぜひご覧下さい。ご参加をお待ちしております。

【国立豊田工業高等専門学校】

公開講座等の問い合わせは 国立豊田工業高等専門学校庶務課

〒471-8525 豊田市栄生町2-1 電話番号：0656-36-5828

豊田高専ホームページ <http://www.toyota-ct.ac.jp/>

「ネットワーク機関」とは生涯学習情報を「学びネットあいち」に提供して下さる生涯学習関連機関・団体のことです。随時募集しています。詳しくは「学びネットあいち」(<http://www.manabi.pref.aichi.jp/>)をご覧ください。

ボランティアだより



地域で積極的にボランティア活動を行っている方や、その方が所属するグループ・団体等を訪問し、実際に活動する様子や生の声を紹介していきます！

今回は、市民ボランティアが中心となって、花の手入れを行い、地域を盛り立てる活動を行っている団体取材しました。

市民で、目指す“花いっぱい蒲郡”！



「とにかく花が大好きで、ガーデニングが趣味なんです！」と楽しそうに語る安井延子さん。洋裁教室の先生、ボランティア活動と、多忙な日々を送っていらっしゃいます。今回は、5年前に結成した「マーガレットクラブ」の代表として、花で地域を盛り立てようという安井さんの活動をご紹介します。

穏やかな日差しがふりそそぐ、10月中旬。安井さんを訪ねて、JR蒲郡駅に降り立ちました。駅を出ると真っ先に色とりどりの花々が出迎えてくれ、ウキウキしつつ、蒲郡市役所のすぐ隣にある旭公園へと向かいました。

ガーデニングが趣味という安井さん。洋裁教室の生徒さんや花が好きなご近所の方々と一緒に、花壇の植え替えを中心としたボランティアグループ「マーガレットクラブ」を5年前に結成したそうです。

今回は、蒲郡市が主催する「市民花いっぱい運動」の一環として、公園や市民会館に植える花の苗を作る活動取材しました。14人が参加し、フォークなどで土に穴をあけ、一つ一つ丁寧に苗を植えていきます。とても根気のいる作業ですが、花の情報交換をしながら楽しく作業されています。7千株を作ったところで、今日の作業は終了。最後は市から花をプレゼントされ、参加したみなさんは花を囲んでさらに会話が弾みます。

今回作った苗は花が咲くまで市で育て、再びボランティアのみなさんの手で、市内の公園や各施設に植えられるそうです。



△ 心を込めて、一つ一つ丁寧に苗を作ります。

「当クラブは市民会館以外にも、蒲郡公民館、勤労青少年センターへの花壇の植えつけ管理を行っています。施設の入口にある花壇は、いわば市の顔。花が出迎えてくれることで、より市民が利用しやすくなるといいですね」—安井さんは、こんな思いを胸に、常に花に気を配っていらっしゃいます。

趣味を生かした自身の活動について、「観光で蒲郡市にいらっしゃった方を花でおもてなし、このことが市の発展に一役買っているのなら、とても幸せですね」と、花に負けないくらい明るい笑顔で話してくれました。

今でも蒲郡で見た美しい花々が目に焼き付いています。みなさんもぜひ蒲郡へ足を運び、至るところで咲き誇る花々をみて、市とボランティアが一体となった活動に思いをさせてみてはいかがでしょうか。

地域をつなぐ“花ボランティア”



バラの町として有名な西尾市。市民が花などを求めてにぎわう「憩いの農園」のすぐ隣に位置する「西尾市福地ふれあいセンター」では、県内でも珍しい取組が行われています。それは、地域住民による花壇の植え替えボランティア。地域の方が「花だんの会」を発足し、6月と11月の年2回活動を行っています。

今回は、公民館を中心に住民が一つになって活動を行う様子取材してきました。

小春日和の11月上旬。「西尾市福地ふれあいセンター（福地公民館）」で、地域住民が花壇の植え替え作業を行うとのことで、取材に行ってきました。

ももとは、平成14年に婦人会の方が始めた花壇の植え替え作業。しかしながら、婦人会の解散を機にこの活動も存続の危機に直面しました。「地域活動として、この取組は継続させなければ！」と、婦人会の方が町内会や学校などに声をかけ、「花だんの会」を発足させ、人が入れ替わっても活動を引き継げる仕組みを考えました。現在はこの公民館の利用者の方も含めて約70名の方が会員となり、まさに地域が一体となった取組へと生まれ変わりました。

取材当日。公民館に近づくにつれて、にぎやかな声が響きわたってきます。朝早くから大勢の人が集まって、公民館の正面玄関前と駐車場の周りがある花壇の草を取り、土を入れ替え、そして花を植える作業が行われていました。女性陣が細かい草をとり、男性陣が力仕事を請け負います。土で手を真っ黒にした子どもたちもいます。至るところから笑い声が聞こえ、とても和やかな雰囲気の中、半日かけて、色とりどりの見事な花壇ができあがりました。

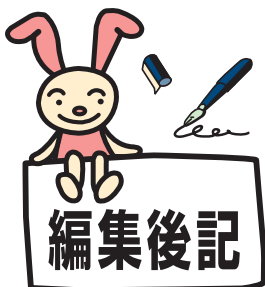


△ お互いに声をかけあいながら、和気あいあいとした中で作業が進みます。

作業終了後、公民館の館長さんにお話を伺いました。「地域の方がこうして自主的に公民館のために活動し、心を寄せていただけることで、私たち職員にとっても、公民館は地域の方に支えられているということを改めて実感するいい機会となっています」

参加した方も「公民館という場所集って、みんなで汗を流しながら一つの作業を行うことで、地域の結束が高まる気がします」と爽やかに語ってくださいました。

近年、核家族化や情報化が進み、希薄になりがちな地域のつながり。地域住民が一体となったこうした活動は、継続していくのが難しいとも言われています。今回の取材から、地域住民をつなぐ拠点としての公民館の姿を改めて感じました。



花を見ているだけで、人の心は癒され、なんだか元気になりますよね。

今回は、花を通じて、地域のために活動していらっしゃる方々取材させていただきました。蒲郡市でも西尾市でも、みなさんが口々にいわれるのは「花は地域の顔」ということです。花が美しく迎えてくれることで、地域のイメージもグンと変わります。

みなさんも、身近な施設の花壇や公園などの花に少し目をとめてみてください。あなたの地域の花は、どんな顔をしていますか？



生涯学習ボランティアコーディネーター養成講座

愛知県教育委員会では、地域社会における生涯学習とボランティア活動の推進に向けて、生涯学習ボランティアコーディネーターを養成しています。

平成19年10月から12月にかけて、「平成19年度生涯学習ボランティアコーディネーター養成講座」を愛知県生涯学習推進センターで開催し、ステップアップ講座と基礎講座を開講しました。



<ステップアップ講座>



近年、生涯学習ボランティアコーディネーターに求められる資質は高度化、多様化しています。地域で活躍するコーディネーターの活動も一層の充実とさらなる活躍の場を拡げていく必要性があります。そこで、これまでに生涯学習ボランティアコーディネーター養成講座を受講された方を対象として、より実践的な内容でステップアップ講座を開講しました。

今回の注目は“フィールドワーク”。愛知県生涯学習推進センターの付近で実際にボランティアが活動を行っている施設を訪問し、お話を伺いながら、生涯学習ボランティアコーディネーターについて考えました。

<基礎講座>



生涯学習ボランティアコーディネーターとして必要な知識・技術を学習するために、愛知県内から参加者が集まりました。コーディネーターの基本的な知識として「ボランティア活動とコーディネーターの役割」の講義や、グループワークを通して、自分自身をふりかえる体験やコミュニケーションの必要性を学びました。

今回の講座では、「ヒト・マチ・コトの縁結び役になろう」というコーディネーターの発想法や県内市町村におけるまちづくりの事例発表など生涯学習によるまちづくりの推進に向けた内容で基礎講座を開講しました。



子ども交流・体験活動推進事業を開催しました!

異年齢・異世代交流を通して、子どもたちの人間力を育成するための子ども交流・体験活動推進事業が、(財)愛知県教育・スポーツ振興財団と県内の4市町(瀬戸市、美和町、蒲郡市、知立市)で開催されました!!



「ふれあいキャンプ in 定光寺」他(瀬戸市)



○地元の大学・公民館等と協力して、里山観察や陶芸創作等地域性を生かした体験活動を行い、異世代との交流を通して地域を学びました。

〔保護者の感想〕「色々な方と触れ合えて、個人ではできないことなど貴重な体験ができました。」

「友だちと一緒にチャレンジ・ザ・キャンプ!」(美和町)

○地元の中学生ボランティアや青年スタッフらのサポートのもと、キャンプ活動を通してライフライン(電気やガス)の大切さを知りました。

〔参加者の感想〕「電気やガスが無いと、こんなに大変だとは思わなかった。」



「海で遊ぼう!学ぼう!」他(蒲郡市)

○「海」をテーマとした体験活動とクリスマスパーティーを行いました。地元の高校生ボランティアや青年リーダーとの協働により、交流と指導者の育成ができました。」

〔参加者の感想〕「仲良くなれるか心配だったけど、すぐに仲良くなれた。また、ほかの学校の友達と遊びたいです。」



「みんなと一緒に 自然と一緒に in 茶臼山高原」(知立市)



○大学院と連携して、異なる障害をもつ子どもたちと寝食をともにしながら体験活動を行い、他人を思いやる心や社会性を養いました。

〔参加者の感想〕「がんばってベンチを作りました。できたときはうれしかった。」「山登りは疲れたけどがんばりました。」

「感動!交流・自然体験 2007 in Summer」(上記財団)

○県野外教育センター(岡崎市)にて、キャンプカウンセラーらのサポートにより、星座観察をはじめとする体験活動を行い、自然に対する畏敬の念を養いました。

〔保護者の感想〕「普段は子どもに目が届きすぎてしまうので、子どもたちだけのキャンプは、親の子離れにもなりました。」



